

「天長地久」の願い

所 功

第一二六代の今上陛下は、この二月二十三日、満六十三歳の御誕生日（かつての天長節）を、健かに迎えられました。各紙掲載の「ご会見」全文とテレビ放映を拝見しますと、宮内記者の質問に一つ一つ誠実に笑顔で応答されています。

その中で、まず父帝の信条を受け継ぐと共に、新時代にふさわしい務めを果たす大切さを自覚した上で、その思いを皇室の構成員全員が共有して各々の役割に向きあうことにより、国民との信頼関係を築きうる、という考えを示しておられます。天皇は皇室と日本の代表者としての明確な見識をもち、その務めを近親者たちと実現しようとしておられるのです。

また、雅子皇后が大切な良き相談相手であり、「この三十年近く（六月九日に真珠婚）、お二人で一緒に多くのことを経験し、お互いに助け合って」きたことに感謝すると共に、その間に生まれ育たれた愛子内親王が、「いつも楽しい話題で家庭の雰囲気や和ませてくれ」ることを喜び「皇室の一員として一つ一つの務めを大切に果たしていつてもらいたい」と期待されています。

このように天皇が率直に語られたことを、私もは国民の立場で真摯に受けとめたいと思います。現行の象徴世襲天皇制度は、将来「皇嗣」秋篠宮の方々が承け継がれてからも、一般国民との間で「相互の信頼と敬愛」が成り立ち続いていくことこそ重要だと考えられます。

（本書「あとがき」より）

皇室史の全体像に迫る最新の力作

京都産業大学
名誉教授（法博）

所 功

目次

- はじめに——天皇・皇室への関心
序 「天皇」「皇室」とは何か
- 前篇 歴代天皇の継承と宮廷文化
一 記紀「神話」の建国物語
二 ヤマト朝廷の「マツリコト」
三 飛鳥・奈良時代の「女帝」
四 平安から幕末までの天皇
五 明治以降の天皇、皇后と皇族
六 近現代の主要な宮廷文化

- 後篇 近現代の法制度に見る天皇
七 明治の「皇室典範」と皇室令制
八 戦後の憲法と新「皇室典範」
九 皇室関連法の整備と典範改正論
十 「皇室典範特別法」と「付帯決議」
十一 「付帯決議」
十二 立憲君主制の長所
あとがき——「天長地久」の願い
付録 歴代天皇の略系図／歴代天皇の略年譜／図表一覽／人名索引／皇室関係の拙著一覽

四六上製 432p（含付録）
本体 3,600円＋税

藤原書店

東京都新宿区早稲田鶴巻町523
〒162-0041 ☎03(5272)0301
info@fujiiwara-shoten.co.jp
http://www.fujiiwara-shoten.co.jp

振替00160-4-17013 PR誌・ブックガイド呈

天皇の歴史と 法制を見直す

コラムー 六月大祓お供えの「真桑瓜」

平成三十年（二〇一八）十月二十日、皇后（現上皇后）陛下は「お誕生日」の記者会見（文書回答）で、来年から夫君の譲位により「公務を離れたら……赤坂の広い庭のどこかに土地を見つけ、マクワウリを作ってみたい」と述べられ、かつて夫君が「これは……六月の大祓の日に用いられることを教えて下さ」ったと明かされている。

この瓜に関しては、高谷朝子元内掌典の『宮中賢所物語』（修訂『皇室の祭祀と生きて』）によれば、六月三十日朝、「水無月の御神饌をお清め」して、賢所と皇霊殿に「おすべ（お供え）」する。その供え物は、小麦粉などで作った薄いお餅の「みなづき」と共に野菜の「白瓜・真桑瓜・なす」を輪切りにしたもので、「真桑瓜」は皇居内の庭園で毎年栽培されており、そのおさがりを頂くと「素朴なお味が大変美味し」と記されている。



図40 岐阜農林高校と岐阜県JAと創った「真桑瓜アイス」

なす」を輪切りにしたもので、「真桑瓜」は皇居内の庭園で毎年栽培されており、そのおさがりを頂くと「素朴なお味が大変美味し」と記されている。ちなみに、この瓜はメロンの一変種で縄文・弥生時代から作られていた痕跡がある。とくに美濃国真桑村（現本巣市）産が良品として知られ「真桑瓜」と称されるようになった。それを織田信長から正親町天皇に献上した、と伝えられている。